

補遺

【資料】

森林遺伝育種学会第6回大会記録

森林遺伝育種学会大会事務局

日時：2017年11月10日（金）13：00～17：30

場所：東京大学農学部キャンパス

弥生講堂アネックス・セイホクギャラリー

参加者数：94名

第5回森林遺伝育種学会奨励賞授与

坪村美代子（森林総合研究所林木育種センター）

「スギにおける雄花着花性の遺伝性と雄花形態形成に関する研究」

James R. P. Worth（森林総合研究所）

「コウヤマキの遺伝的多様性と保全に関する研究」

ポスター発表（44件）

1) エリートツリーの性能評価試験—コンテナ苗と裸苗における樹高および形状比の家系間の相関性について—  
加藤一隆・山野邊太郎・大平峰子（森林総合研究所林木育種センター）

2) トドマツの樹冠反射スペクトルを用いた生理学的特性のクローン間変動評価の可能性

花岡 創（森林総合研究所林木育種センター北海道育種場）・古家直行（森林総合研究所北海道支所）

3) コブシの集団構造と過去の集団動態の推定

玉木一郎（岐阜県立森林文化アカデミー）・川島直通・行年恭兵（名古屋大学大学院生命農学研究科）・李 正賢（全南大学校）・鈴木節子（森林総合研究所）・板谷明美（三重大学大学院生物資源学部）・戸丸信弘（名古屋大学大学院生命農学研究科）

4) 温暖地に移植した北方針葉樹3種の開葉フェノロジーの変化～開芽から冬芽形成まで～

後藤 晋・米道 学・久本洋子・齋藤俊浩・平尾聡秀・木村徳志・福岡 哲（東京大学大学院農学生命科学研究科）・伊原徳子（森林総合研究所）・種子田春彦（東京大学大学院理学系研究科）

5) 長日処理によるカラマツの着花促進効果

福田陽子・花岡 創・矢野慶介（森林総合研究所林木育

種センター北海道育種場）・田村 明（森林総合研究所林木育種センター）

6) 固有樹種シコクシラベの石鎚山集団内における7年間の結実動態

岩泉正和・三浦真弘・河合貴之・笹島芳信（森林総合研究所林木育種センター関西育種場）・磯田圭哉（森林総合研究所林木育種センター）

7) 野外でのマツノザイセンチュウ接種において接種後の降雨が影響するタイミング

山野邊太郎（森林総合研究所林木育種センター）

8) サンプル集団の違いによるゲノミックセレクションの予測精度

新屋智崇・陶山健一郎・中浜克彦・岩田英治・根岸直希・田邊稔明（日本製紙（株）研究開発本部 基盤技術研究所植林研究室）

9) 播種時期の異なるスギコンテナ苗の成長推移の比較  
大平峰子（森林総合研究所林木育種センター）

10) コンテナ育苗した少花粉ヒノキさし木苗の植栽3年目の成長比較

茂木靖和・渡邊仁志（岐阜県森林研究所）

11) 明るさ等の採種園環境に対するカラマツの着果性のクローン間変異

松下通也（森林総合研究所林木育種センター）・西川浩己（山梨県森林総合研究所富士吉田試験園）・田村 明（森林総合研究所林木育種センター）

12) 石川県産ヒバ（クサアテ）1個体の低温順化過程における遺伝子発現解析

稲永路子（森林総合研究所林木育種センター）・高田克彦（秋田県立大学木材高度加工研究所）

13) Provenance variations in stem productivity of 30-year-old Japanese larch trees planted in northern and central Japan are associated with climatic conditions in the provenances

永光輝義（森林総合研究所北海道支所）・松崎智徳・長坂壽俊（森林総合研究所）

14) シードバンクにおける野生種保存の現状と課題

木村 恵・古本 良・遠藤圭太 (森林総合研究所林木育種センター)

15) Functional annotation for *Cryptomeria japonica* EST libraries.

ウェイ フージン・上野真義 (森林総合研究所)・齋藤真己 (富山県農林水産総合技術センター森林研究所)・津村義彦 (筑波大学生命環境系)・戸塚聡子・岩井淳治 (新潟県森林研究所)・袴田哲司 (静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター)・森口喜成 (新潟大学大学院自然科学研究科)

16) 果樹用花粉交配機による無花粉スギ閉鎖系採種園での花粉散布

齋藤央嗣・久保典子・毛利敏夫 (神奈川県自然環境保全センター)

17) 雄性不稔スギによる挿し木コンテナ苗の短期間育成  
袴田哲司 (静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター)

18) 点群データを用いた樹冠を含む樹木形状生成と形質推定の試み

平岡裕一郎 (森林総合研究所林木育種センター)・齋藤和人 (電気通信大学)・松下通也・高橋 誠 (森林総合研究所林木育種センター)・増田 宏 (電気通信大学)

19) カラマツ採種園における開葉と気温との関係  
蓬田英俊 (岩手県林業技術センター)

20) スギの複数器官における遺伝子発現の統合解析

三嶋賢太郎・能勢美峰・栗田 学・坪村美代子・平尾知士・平岡裕一郎・花岡 創・井城泰一・大平峰子・高島有哉・松下通也・高橋 誠 (森林総合研究所林木育種センター)・田村美帆・渡辺敦史 (九州大学大学院農学研究院)

21) グルタミン酸を用いたカラマツさし木増殖技術の開発ー採穂台木の育成ー

井城泰一 (森林総合研究所林木育種センター東北育種場)・小川健一・岩崎 (葉田野) 郁・中川昌人 (岡山県農林水産総合センター生物科学研究所)・田村 明 (森林総合研究所林木育種センター)

22) 人工交配の効率化に向けた雌花の開花フェノロジーの調査

栗田 学 (森林総合研究所林木育種センター九州育種場)・坪村美代子・平岡裕一郎 (森林総合研究所林木育種センター)

23) ケヤキ林木遺伝資源保存林におけるモニタリング調査

磯田圭哉・山田浩雄・木村 恵・生方正俊 (森林総合研究所林木育種センター)・矢野慶介 (森林総合研究所林木育種センター北海道育種場)・岩泉正和 (森林総合研

究所林木育種センター関西育種場)

24) 土壌の乾燥に対するスギの生理的応答性のクローン間変異

高島有哉・平岡裕一郎・松下通也・山野邊太郎・大平峰子・三嶋賢太郎・坪村美代子・高橋 誠 (森林総合研究所林木育種センター)・平尾知士 (森林総合研究所林木育種センター森林バイオ研究センター)・花岡 創 (森林総合研究所林木育種センター北海道育種場)・栗田 学・武津英太郎 (森林総合研究所林木育種センター九州育種場)

25) スギの自殖系統の作成とその利用

内山憲太郎・上野真義 (森林総合研究所)・森口喜成 (新潟大学)・津村義彦 (筑波大学)・松本麻子 (森林総合研究所)

26) 乾燥ストレスに対するスギの遺伝子発現動態

平尾知士 (森林総合研究所森林バイオ研究センター)・高島有哉・三嶋賢太郎・能勢美峰 (森林総合研究所林木育種センター)

27) 紀伊半島で発見された新種クマノザクラに対する遺伝子汚染の危惧

勝木俊雄 (森林総合研究所)・山下由美子 (和歌山県林業試験場)・奥田清貴・中村昌幸 (樹木医会三重県支部)

28) 遺伝子組換え雄性不稔スギの隔離ほ場栽培における特性評価

小長谷賢一・高田直樹・七里吉彦・谷口 亨 (森林総合研究所森林バイオ研究センター)

30) 環状剥皮したカラマツ採種木の着花促進について

西川浩己・神戸陽一・小林正男・羽田直美・三浦 充・渡辺真紀子 (山梨県森林総合研究所)・松下通也・田村明 (森林総合研究所林木育種センター)

29) スギのさし木クローン苗の成長と接ぎ木クローン苗及び実生苗の成長の関係

倉本哲嗣・栗田 学・武津英太郎・松永孝治・倉原雄二 (森林総合研究所林木育種センター九州育種場)

31) アカエゾマツ精英樹家系のマイクロフィブリル傾角の変異と曲げ物性との関係

田邊 純 (千葉大学教育学部)・田村 明 (森林総合研究所林木育種センター)・石栗 太・飯塚和也・横田信三 (宇都宮大学農学部)

32) マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツのクローナル採種園の最適設計に向けた種子生産シミュレーション

松永孝治・栗田 学 (森林総合研究所林木育種センター九州育種場)・岩泉正和 (森林総合研究所林木育種センター関西育種場)・武津英太郎 (森林総合研究所林木育種センター九州育種場)・松下通也 (森林総合研究所林木育種センター)・平尾知士 (森林総合研究所森林バイ

オ研究センター)・倉原雄二・倉本哲嗣(森林総合研究所林木育種センター九州育種場)・高橋 誠(森林総合研究所林木育種センター)

33) 関西育種基本区における抵抗性アカマツ次世代化の取り組み

三浦真弘・岩泉正和(森林総合研究所林木育種センター関西育種場)・玉城 聡・磯田圭哉(森林総合研究所林木育種センター)・久保田正裕(森林総合研究所林木育種センター関西育種場)

34) スギ精英樹におけるさし木苗の根系形質評価

福田有樹・大平峰子・平岡裕一郎・高橋 誠(森林総合研究所林木育種センター)・井城泰一(森林総合研究所林木育種センター東北育種場)・三浦真弘(森林総合研究所林木育種センター関西育種場)・栗田 学(森林総合研究所林木育種センター九州育種場)・渡辺敦史(九州大学大学院農学研究院)

35) 新たな無花粉スギ品種「林育不稔1号」の開発と今後の無花粉スギ育種

坪村美代子・大平峰子・高島有哉・三嶋賢太郎・平尾知士・平岡裕一郎・加藤一隆・高橋 誠・星比呂志(森林総合研究所林木育種センター)・渡辺敦史(九州大学農学研究院)

36) 幹重量の大きいヒノキ品種と選抜母集団との表現型値の比較

宮下久哉・平岡裕一郎・高島有哉・加藤一隆(森林総合研究所林木育種センター)

37) 少花粉スギミニチュア採種園産実生苗の苗畑における初期成長と雄花生産

田波健太・原口雅人(埼玉県寄居林業事務所 森林研究室)

38) グイマツ雑種 F<sub>1</sub> さし木育種における温湿度管理の重要性

今 博計・石塚 航・来田和人・黒丸 亮(北海道立総合研究機構林業試験場)

39) カラマツ属における施設内採種園の実用化の可能性について

田村明(森林総合研究所林木育種センター)・福田陽子・

矢野慶介(森林総合研究所林木育種センター北海道育種場)・織田春紀(元・森林総合研究所林木育種センター)・山田浩雄・高橋誠(森林総合研究所林木育種センター)

40) グイマツ育種材料の系統評価—葉緑体全ゲノム情報を用いて

石塚 航(北海道立総合研究機構林業試験場)・田畑あずさ・小野清美(北海道大学低温科学研究所)・福田陽子(森林総合研究所林木育種センター北海道育種場)・原 登志彦(北海道大学低温科学研究所)

41) Geographical variation of growth characteristics and stress-wave velocity of *Larix sibirica* naturally grown at five provenances in Mongolia.

Bayasaa Tumenjargal・Futoshi Ishiguri・Haruna Aiso・Yusuke Takahashi (Utsunomiya University)・Chultem Ganbaatar・Baasan Bayartsetseg (Mongolian University of Science and Technology)・Shinso Yokota (Utsunomiya University)

42) ドロノキの葉形質における産地間差および個体間差生方正俊・塙 栄一・中島章文(森林総合研究所林木育種センター)

43) 千葉県君津市産ケヤキの応力波伝播速度に関する親子の関係

成沢知広(千葉県農林総合研究センター森林研究所)・田邊 純(千葉大学教育学部技術科)・遠藤良太(千葉県農林総合研究センター森林研究所)・石栗 太(宇都宮大学農学部森林科学科)

44) 一種で多様な生態ニッチを優占する樹木ハワイトモモのゲノム解析

伊津野彩子(森林総合研究所)・小野田雄介・井鷲裕司・甘田 岳・小林慧人(京都大学)・Elizabeth Stacy・Tomoko Sakishima (University of Nevada, Las Vegas)・清水健太郎(University of Zurich)

本大会の開催は、平成29年度「緑と水の森林フェンド」(公益社団法人国土緑化推進機構)の事業助成を受けて行われた。